

会 告

第91回講演大会見学会・懇親会開催のお知らせ

本会は第91回(秋季)講演大会を昭和51年10月2日(土)、3日(日)、4日(月)の3日間、東北工業大学で開催いたしますが、これを機会に10月2日懇親会、3日婦人見学会、5日(火)見学会を下記により開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようお願いいたします。なお、講演大会の詳細ならびにジュニアパーティーについては追ってお知らせいたします。

記

1. 見学会の申込について

期 日 昭和51年10月5日(火)3班

会 費 1,2班800円(含昼食費),3班不要(但し,昼食費および交通費各自負担)

申込締切 昭和51年9月4日(土)

見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
2. 申し込みは1人1班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたします。
3. 1,2班は申込と同時に見学費をお払込み下さい。
4. 3班の見学について、午後の東北大学選鉱製錬研究所見学後、東北大学工学部金属系教室と金属博物館の2グループに分かれて行ないますので、お申込みの際ご希望の方を○で囲んで下さい。
5. 見学希望数が少人数の場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
6. 見学会が中止となった場合は、会費を返金いたします。
ただし、お申し込みの取消しは9月9日までとし、以後は取消しの申し出があつても返金いたしません。
7. 各班とも工場内での写真撮影は禁止いたします。また見学コースを外れた行動を禁じます。
8. 見学費の領収書は見学班が決定後、見学券と一つしよに送付いたします。

2. 懇親会の申し込みについて

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについてもより多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気のご催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようお願い申し上げます。

期 日 昭和51年10月2日(土)18:00~20:00

会 場 ホテル江陽(仙台市一番丁4-1)

会 費 5,000円(同伴のご夫人はご招待いたします)

申込締切 昭和51年9月4日(土)

参加券 領収証とともに申込締切後お送りいたします。

3. 婦人見学会について

期 日 昭和51年10月3日(日)(見学は定期観光バスで行ないます)

コ ー ス 青葉城址,塩釜神社,松島海岸(島巡り)

会 費 3,500円(拝観料,案内料,船賃,昼食代,記念品,写真代等)

参加券 領収証とともに申込締切後お送りいたします。

4. 申込方法

上記「申込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙に必要事項を記入し、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込み、銀行振込みならびに郵便振替による申し込みは受付いたしません。

5. 申込先

〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館

(社) 日本鉄鋼協会 講演大会係 TEL (03) 279-6021

注) 1. 見学会,懇親会申込書は本誌会告N139ページに掲載いたしております。

2. 講演大会中の宿泊についてはN138ページに案内しております。

見 学 会

工場・施設見学 10月5日(火) 申込締切 9月4日(土), 婦人コース 10月3日(日) 申込締切 9月4日(土)

班別 (定員)	見学場所	所在地	見学内容	見学時間	集合場所・出発時刻 解散場所・時刻	備 考
1 (50名)	新日本製鉄株式会社 釜石製鉄所 (釜石 大観音)	釜石市鈴子町 23-15	製鉄工場, 製鋼工場, 圧延工場他 (釜石大観音: 国立公園陸中海岸 の岬にあり眺めがよい)	(12:15~ 12:45 昼食) 12:45~15:00 工場見学 15:00~15:45 釜石大観音	釜石線 集合: 釜石駅前 12:00 解散: 釜石駅前 16:00	会費 800 円 ①仙台発 7:25 “急行陸中1号” に乗車す ると釜石 11:45 到着 ②釜石発 16:47 “陸中2号” に乗車する と仙台 21:35 着. 釜石発 14:59 “急 行五葉” に乗車すると宮古 16:08 着, 盛岡 18:25 着
2 (40名)	株式会社吾娰製鋼所 仙台製鉄所 藤沢製鋼株式会社	仙台市港 1-6-1 仙台市港 1-5-1	港湾, 織材工場 専用岸壁, 製鋼工場, 圧延工場	10:00~12:00 (吾娰製鋼所 にて昼食) 13:00~14:30	仙石線 集合: 多賀城駅前 9:40 解散: 多賀城駅前 15:00	会費 800 円 多賀城駅→見学先間は吾娰製鋼, 藤沢製 鋼両社のバスで送迎. 仙石線・仙台発 9:18→多賀城着 9:36 多賀城発 15:04→仙台着 15:26 松島方面を観光される方: 多賀城発 15:42→松島海岸着 16:04
3 (50名)	東北大学金属材料 研究所 東北大学選鉄製錬 研究所 東北大学工学部金属 系教室 日本金属学会附属金 属博物館	仙台市片平 2-1-1 仙台市片平 2-1-1 仙台市荒巻 字青葉 ヶ	強磁場等特殊実験装置, 100 万 V 電顕室, 低温センター, 本多記念 室, 希望研究室など 移動層還元反応装置, 100 t オ トグラフ, 自動X線構造解析装置 (固体, 液体)他, 希望研究室 教室内徒覧, 希望研究室 展示品内容説明	9:30~12:00 13:00~14:45 15:30~16:30	集合: 東北大金研玄関前 9:30 集合: 東北大選研玄関前 13:00 集合: 東北大工金属系教 室玄関前 15:30 集合: 金属博物館前 15:30 解散: 現地解散 17:00	会費不要 昼食 (12:00~13:00) は大学内食堂 または付近の食堂で各自自由 金属系教室と金属博物館見学グループ に分かれる。(各見学先へは各自スク ーバルバスまたはタクシーを利用のこと)
婦人 コース (20名)	青葉城址, 塩釜神社, 松島海岸(島巡り)	仙台 塩釜 松島	仙台駅前→青葉城址(下車)→塩釜 神社(下車)→松島パノラマライ (下車・昼食)→松島海岸(下車・瑞 巖寺, 五大堂, 観瀾亭)~(遊覧 船)~塩釜棧橋→仙台駅	9:20~16:00 所要時間 6時間40分	集合: 仙台駅(丸光デ パート前) 9:10 解散: 仙台駅(丸光デ パート前) 16:00	会費 3,500 円 定期観光バス利用 (Cコース)

第 92 回 (秋季) 講演大会 討論会 コメント ならびに 質問 募集 案内

本会は、第 92 回講演大会を昭和 51 年 10 月 2 日～4 日東北工業大学で開催いたしますが、そのさい開催される討論会は下記の通りとなりました。本討論会の講演概要は本誌刊末に掲載いたしておりますので、内容ご覧のうえ講演に対するコメントならびに質問をご投稿下さいませようお願いいたします。

1. 投稿締切日 昭和 51 年 9 月 10 日 (金)
2. コメント, 質問原稿 任意の用紙にどの講演に対するコメントあるいは質問であるかを明記し, ご執筆下さい。解答は当日会場で行なわれます。
3. 送付先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021

なお、本討論会講演概要は本誌に掲載されるのみですから、当日は当概要集をご持参下さるようお願いいたします。

I 高炉の反応 10月2日(土) 13:00~17:00 座長 吉井 周 雄

討-1 鉄鉱石類の熔融滴下について

新日鉄生産技研 西田 信直, 重見 彰利, ○斧 勝也…… A 95
君 津 山口 一良

討-2 酸化鉄ペレットの軟化熔融に及ぼすガス状硫化物の効果

東北大選研 ○高橋礼二郎, 大森 康男, 高橋 愛和…… A 99

討-3 熱力学的にみた高炉内での各元素の反応挙動と操業因子との関係

川鉄技研 高田 至康, ○田口 整司, 樋谷 暢男, 岡部 快児…… A 103

討-4 高炉内における装入物の挙動と反応

鋼管技研 福島 勤…… A 107

II 連鑄々片の内部割れの発生とその防止法 10月3日(日) 13:00~17:00 座長 郡司 好喜, 大橋 徹郎

討-5 連鑄々片の応力と内部割れ 日立製作日立研 ○児玉 英世, 新山 英輔, 堀口 穰…… A 111
日立 木村 智明

討-6 SUS430 連鑄々片の内部割れに関する研究 日新周南 丸橋 茂昭, 長谷川守弘…… A 115

討-7 内部割れにおよぼす 2 次冷却とロールピッチの形響

(連続鑄造における内部割れの生成機構について 第 2 報)

新日鉄名古屋 井上 俊朗, 小舞 忠信, 森 紘一, 加藤 郁, ○秋田 靖博…… A 119

III 高強度鋼薄板 (ステンレスを含む) の塑性加工 10月3日 13:00~17:00 座長 神馬 敬

討-8 高強度薄鋼板の将来 理化学研 吉田 清太…… A 123
新日鉄 佐藤 泰一

討-9 高張力冷延鋼板のプレス成形性および形状凍結性

川鉄技研 大橋 延夫, ○高橋 功, 橋口 耕一, 橋本 弘…… A 127

千葉 大西 建男, 古川 幸夫

討-10 高張力鋼板のプレス成形における型かじり現象

住金中技研 ○須藤 忠三, 林 豊, 西原 実…… A 131

討-11 高強度薄鋼板成形品の強度および耐久性 新日鉄製品研 坂本 徹…… A 135

討-12 水燃入連続焼鈍法による焼付け硬化性を有する高張力冷延鋼板の製法と特性

鋼管技研 ○中岡 一秀, 荒木 健治, 金原 理…… A 139

IV 鋼の疲労き裂の発生と伝播特性 10月2日 13:00~17:00 座長 荒木 透

討-13 鋼の疲労損傷におよぼす微視組織因子の形響

東大工 ○堀部 進, 佐川 竜平, 藤田 利夫…… A 143

金材技研 荒木 透

討-14 5.5Ni-Cr-Mo-V 鋼の組織と疲れ性質 金材技研 ○角田 方衛, 内山 郁…… A 146

討-14-1 フェライト系鉄合金における疲労クラック伝播速度と塑性域について

東北大院○鈴木 芳春…… A 149

東北大 金研 熊谷真一郎, 増本 健

討-14-2 鋼の疲れき裂伝播速度の低 ΔK 側の遷移について

東工大精研 ○布村 成具, 肥後 矢吉…… A 151

東工大 院 福井 泰好, 旭ダイヤ 山下 哲二

討-14-3 高張力鋼の $\Delta K_{th}/2$ におよぼす平均応力の影響

金材技研 ○佐々木悦男, 太田 昭彦…… A 152

討-14-4 疲労き裂伝播式における材料常数 C と m の関係

金材技研 ○田中 紘一, 松岡三郎…… A 153

討-15 疲労き裂伝播特性におよぼす材料の強度および介在物の影響

- 川鉄技研 ○成本 朝雄, 小林 邦彦, 田中 康浩, 船越 督己…… A154
 討-15-1 鋼の疲労き裂の伝播特性 東工大工 小林 英男, 中沢 一…… A157
 “ 院 村上 理一, 藤田健太郎
 討-15-2 構造物の疲れ挙動と試験片試験との関連 高温構造安全技研 藤村 理人…… A159

第40・41回西山記念技術講座開催のお知らせ

鋼の連続鋳造技術における最近の進歩

主催 日本鉄鋼協会

第40・41回西山記念技術講座を下記のとおり開催いたしますので多数ご来聴下さいますようご案内いたします。

I 期 日 第40回 昭和51年9月16日(木), 17日(金)

新丸ビル大会議室(千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル地下 TEL 03-214-8045)

第41回 昭和51年10月14日(木), 15日(金)

北九州市勤労者会館ホール(4階)

(北九州市八幡区中央2-1-1 TEL 093-661-7334)

II 演題ならびに講師

第一日(9月16日(木)・10月14日(木))

9:30~10:30	総論	共同研究会製鋼部会長	石原重利
10:40~12:10	鋼の連続鋳造設備	(株)神戸製鋼所本社	野崎輝彦
13:10~14:40	連続鋳造の操業	新日本製鉄(株)大分製鉄所	堀 珊 吉
14:50~16:20	連続鋳造片の凝固組織	鉄鋼基礎共同研究会凝固部会長	郡 司 好 喜

第二日(9月17日(金)・10月15日(金))

9:30~11:00	連続鋳造片の表面欠陥とその防止法	川崎製鉄(株)水島製鉄所	大井 浩
11:10~12:40	連続鋳造片の内部欠陥とその防止法	日本鋼管(株)技術研究所	川 和 高 穂
13:40~15:10	高合金鋼の連続鋳造	日新製鋼(株)周南製鋼所	星 記 男
15:20~16:50	連続鋳造鋳片の加工法と鋼材の性質	住友金属工業(株)本社	牛 島 清 人

III 講演内容

1. 総論 共同研究会製鋼部会長 石原重利

鋼の連続鋳造法の今日に至る発展の経過を概観し、造塊・分塊法との対比に於いてその特長を述べる。

次に、設備面、操業面、品質面等の観点から、連続鋳造技術の近年に於ける進歩の跡をたどりつつその現況を考察し、連続鋳造法の現在抱えている問題点と課題について言及する。さらに、最近の新しい技術の紹介と将来展望についても触れる。

2. 鋼の連続鋳造設備 (株)神戸製鋼所 野崎輝彦

1960年代に入つて従来の造塊～分塊工程に代わるべき大型の連続鋳造設備が実用化され、全連鋳を基本とした大型製鋼工場も出現した。このことは連鋳の生産能率を高めるため、その操業経験を機械設計の中に生かして種々努力した結果であり、更に品質面および次工程からの諸要求を設備面の改善で答えてきたことも大きな理由である。そこで連鋳設備の歴史的な流れから発達経過を展望し、生産能率向上、品質向上面で設備改善がどの様に進められてきたかを述べ、併せて将来に対する課題についても記述する。

3. 連続鋳造の操業 新日本製鉄(株) 堀 珊 吉

○製造サイズ、鋼種の拡大、スラブ連鋳の現状、ピレット、ブルーム連鋳の現状、トピックス

○生産性の向上、多連鋳技術、高速鋳造技術、操業率向上 ○省資源、省エネルギー ○自動化、省力化、自動鋳込、パウダー、自動投入、鋳片処理 ○整備、計測技術、○連鋳用耐火物 ○前後工程との連繫

4. 連続鋳造片の凝固組織 鉄鋼基礎共同研究会凝固部会長 郡 司 好 喜

連続鋳造された鋳片の凝固組織は鋳片内部の偏析、介在物の分布および内部割れなどの欠陥に密接に関連する。まずマクロ組織を分類してその成因に関する基本的な考えを示し、とくに等軸晶を増加させるためにとられている操業の意味をあきらかにする。ミクロ組織については、デンドライ・アームスパーシングとこれに影響する凝固過程のパラメーターの関係を中心とし、理論的な考察および実際への応用を解説する。

5. 連続鋳造片の表面欠陥とその防止法 川崎製鉄(株)大井 浩

連続鋳造による鋳片の表面欠陥についての研究の進歩はめざましいものがあり、その結果として鋳片の表面性状は造塊材を凌駕するにいたり鋼種によつては無手入れ圧延が工程化している。鋳片の最も基本的な欠陥であるひび割れ横割れ、縦割れおよび表皮下の非金属介在物などをとりあげ、その生因および対策についてのここ2、3年間の進歩について考察した。

6. 連続鑄造片の内部欠陥とその防止法 日本鋼管(株) 川 和 高 穂

主に広幅連続鑄スラブについて、中心偏析、断面割れ、内部割れ、表層下割れ及び介在物を取上げ、それぞれについて形態、上記欠陥と成品欠陥との関係、発生原因及び対策について述べる。中心偏析についてはその防止法として Inline reduction を提案し、実施した結果を述べる。介在物については成品別に成品欠陥との関係を述べ、注入流酸状防止法、ノズル形状等の影響を述べる。

7. 高合金鋼の連続鑄造 日新製鋼(株) 星 記 男

日本における高合金鋼、とくにステンレス鋼の連続鑄化率は 60% を越える。本報は国内各社のアンケート結果に基づく現況、連続鑄造に関連した鋼の特性、設備、操業、鑄片と製品にあらわれる欠陥と対策について述べる。さらに鑄片の組織、加工による変化と加工性、歩留と原価に与える影響について鋼塊材と比較して述べる。

8. 連続鑄造鑄片の加工法と鋼材の性質 住友金属工業(株) 牛 島 清 人

連続鑄造が近代的な製鋼技術の一環として十分にその機能を発揮するために、高能率の精錬と圧延の中間を結ぶプロセスとして、単純化、大容量化を指向すると同時に可及的に最終製品に近い形の素材を鑄込むといういわゆる異形断面鑄片の連続鑄造、In-line Reduction 等についても開発が進められてきた。又多年に亘る品質向上の努力は逐次適用鋼種得拡大として実つてきている。それでこれら鑄片の加工法と得られた鋼材の性質を紹介する。

IV 聴講料無料 (事前の申込みは必要ありません)

V テキスト代 3,000 円

VI 問合せ先 日本鉄鋼協会編集課 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 TEL 03-279-6021

**鉄鋼オートメーションシンポジウム
開催に関するご案内**

主催：日本自動制御協会 協賛：計測自動制御学会、
日本鉄鋼協会

プラントの大規模化、複雑化、人件費高騰等により、各業界とも生産の合理化、省力化、自動化を推進中があります。鉄鋼業界におきましても旧くから学会、鉄鋼各社、制御装置メーカー体となり、コンピュータを中心とするオートメーション化や情報の集中化による高効率運転を実施しており、その内容も複雑多岐に亘っております。

この度、これら三者の交流を更に緊密にし、関係各位の情報交換と啓蒙を目的としてシンポジウムを企画致しました。つきましては、下記要領にて論文を募集致したいと思っておりますので、ふるつてご応募下さい。

月 日 昭和 52 年 1 月 26 日(水)・27 日(木)

会 場 未定 (8 月決定)

講演内容 テーマは鉄鋼オートメーション・コンピュータによる集中制御に関するものならば何でも結構です。

ただし、ご講演の可否は当協会プログラム委員会にて、検討の上決定させていただきます。

講演期間 30 分 討論時間 10~15 分

講演申込みしめきり日 9 月 3 日 (金)

前刷原稿しめきり日 11 月 22 日 (月)

申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記載の上、下記宛お申し込み下さい。

原稿用紙、執筆要項をお送り致します。

〒606 京都市左京区山端一丁目 1 番地

日本自動制御協会

[鉄鋼オートメーションシンポジウム係]

TEL (075) 711-6601・701-8893

シンポジウム当日若干の参加費をいただくこととなりますが、ご了承願います。

第 10 回化学工学の進歩講習会

—— 環境プロセス工学 ——

主催：化学工学協会東海支部 共賛：日本鉄鋼協会東海支部、ほか

日 時 昭和 51 年 9 月 21 日(火)~23 日(木)

会 場 名古屋港湾会館 (名古屋市港区入船 2 丁目 1-17) 電話 052-652-7151

交通：地下鉄名城線名古屋港下車 2 番出口西側

定 員 100 名

参加費

参加日数	1 日	2 日	3 日
会 員	10,000円	15,000円	20,000円
学生会員	5,000円	7,500円	10,000円
会 員 外	15,000円	20,000円	25,000円

(いずれもテキスト代を含む)

* 主催、共賛団体の会員である会社、工場よりの申込みは会員なみに取扱います。

テキスト 「化学工学の進歩(第10集)」

(槇書店刊 A 5 判)

申込締切 定員 (100 名) となり次第締切

申込方法 参加月日を明記の上、表示の参加費を添えて、東海支部宛お申込み下さい。

内 容

第 1 日 9 月 21 日 (火)

1. 排水処理と微生物 名大農 小林 猛

2. 活性汚泥処理の問題点と対策

阪大工 市川 邦介

3. 微生物による排水の高度処理技術の開発

名大農 清水 祥一

第 2 日 9 月 22 日 (水)

4. 排水の物理化学的処理技術の開発

名工大 吉田 高年

5. 排水の重金属処理技術の問題点と対策
日本揮発油 平田 俊道
6. 排水の油濁防止処理技術の問題点と対策
神鋼ファウドラ 園 欣弥
7. 排水の再利用技術の問題点
栗田工業 谷口 良雄・岡崎 稔
- 第3日 9月23日(木)
8. 工場排煙 SO_x 除去技術の開発
名大工 渡会 正三
9. 工場排ガス中の窒素酸化物防除技術の開発
新日鉄名古屋 福田章一郎
10. 脱硫・脱硝触媒の現状と問題点
瀬戸窯業 稲垣甲子郎
11. 溶剤利用プロセスの排気対策
日本環境衛生センター 重田 芳広

第7回真空科学国際会議および
第3回固体表面国際会議

The Seventh International Vacuum Congress and
The Third International Conference on Solid Sur-
faces

- 期 日 1977年9月12日～16日
- 場 所 Vienna, Austria
- 主 催 Österreichische Gesellschaft für Vakuumtech-
nik, Österreichische Studiengesellschaft
für Atomenergie Ges. M. B. H.
Technische Universität Wien
- 後 援 International Union for Vacuum Science,
Technique and Applications
International Union of Pure and Applied
Physics
- 内 容 真空科学と技術、薄膜、表面の物理と化学、表
面分析装置の四分野に大別される。用語は英語
独語、仏語で同時通訳は行なわれない。一般講
演は英文アブストラクトを添付して1977年3
月1日までに申し込むこと。申し込みその他に
関する詳細は2nd Circularに掲載される。
- 2nd Circular 1976年末に配布の予定。配布希望者は、
1st Circularに添付されている申込書を
1976年9月1日までに届くように送ること、
1st Circularは日本真空協会事務局
宛申し込みれば人手できる。
- 連絡先 R. Dobrozemsky 7th IVC & 3rd ICSS
Postfach 300 A-1082, Vienna, Austria
Tel. 02254/201
- 国内連絡先 日本真空協会
〒105 東京都港区芝公園3丁目5番8号
機械振興会館512号室
Tel. 03-431-4395
- 展示会 会議期間中に真空機器、真空材料および表面分
析装置の展示会を併設する予定。
- 連絡先 WERBUNG SCHERBETZ
Kinderspitalgasse 4
A 1090, Vienna, Austria
Tel. 0222/42 33 47

金属材料技術研究所創立20周年記念研究講演会

日 時 昭和51年10月21日(木) 10:00～17:00

会 場 金属材料技術研究所大会議室
東京都目黒区中目黒 2-3-12
〔東横線中目黒駅下車、徒歩約10分、
東京共済病院隣〕 Tel. 03-719-2271

プログラム

- 10:00～10:10 あいさつ 所長 荒木 透
- 10:10～12:10
1. 金属と水素 非鉄金属材料部 佐々木靖男
 2. 鋼の強度と環境 鉄鋼材料部 金尾 正雄
 3. 金属間化合物超電導材料 電気磁気材料部 井上 廉
- 13:00～14:20
4. 原子力関連材料 科学研究官 伊藤 伍郎
 5. 材料強さデータシート 疲れ試験部 吉田 進
- 14:30～15:50
6. 新しい製鉄・製鋼法 工業化部 中川 龍一
 7. 新しい非鉄製錬法 製錬部 亀谷 博
- 15:50～17:00
8. 金属粉末製造法と焼結加工法 金属加工部 武田 徹
 9. アーク溶接における制御技術 溶接部 岡田 明
- 聴講料 無料(当日御来場の方に概要集を差し上げます)
(問合せ先:金属材料技術研究所管理部企画課)

第17回 真空に関する連合講演会
講 演 募 集

- 主催:日本真空協会 協賛:日本鉄鋼協会、ほか
- 期 日 昭和51年11月25日(木)、26日(金)、27日(土)
- 会 場 京都会館会議場(京都市左京区岡崎)
- 講演内容 (1)真空物理、(2)真空技術一般、(3)超高
真空とその応用、(4)質量分析(特に真空分
析計)とその応用、(5)表面現象、(6)蒸着
スパッタ技術と薄膜、(7)真空冶金、(8)真
空化学(蒸留乾燥など)
- 講演時間 1件10分あるいは15分。
- 申込方法 所定の申込書と予稿集の原稿用紙を用いて、
講演要旨を申込と同時に送っていただきま
す。申込書は1題目1枚とし、予稿は1題目
につき原稿用紙(32×32字詰)2枚以内にま
とめて下さい。申込書および原稿用紙不足の
場合には日本真空協会連合講演会係本部事務
局宛に請求願います。
- 締 切 昭和51年9月20日(月)必着のこと
- 送 付 先 〒550 大阪市西区江ノ子島 大阪府立工業
技術研究所内 日本真空協会関西支部宛
電話 06-443-1121(代)
- 懇 親 会 恒例の懇親会は11月26日(金)夜
同会館にて開催します。

第13回分析化学講習会

—環境試料分析法の問題点とその対応—

主催：日本分析化学会中国四国支部 共催：日本鉄鋼協会中国四国支部，ほか

期日 9月3日(金)

日程 9:30~15:00 特別講演
15:10~17:00 パネルディスカッション会場 山口大学工学部 宇部市常盤台
(交通：宇部線琴芝駅または宇部新川駅からバスにて山工工学部前下車)

特別講演

1. 水質分析の問題点(金沢大理) 木羽 敏泰
 2. 大気分析の問題点(都立大工) 荒木 峻
 3. 生物試料分析の問題点(東大理) 不破敬一郎
- なおこの機会に3講師ならびに当支部内各大学、会社等の指導員をまじえて、上記のテーマに関連して、クロマトグラフィー、原子吸光、比色、抽出電気分析、有機試薬、沈殿分離、放射能分析などについて、パネルディスカッションを計画しておりますので質問を募集します。

参加費 (テキスト代を含む)

会員 8,000円 会員外 10,000円
テキストのみ(送料とも) 4,000円

質問原稿締切 7月31日(土)

参加申込締切 8月10日(火)

用紙は下記へご請求下さい。

申込先 〒755 宇部市常盤台 山口大学工学部工業化学科内 分析化学講習会係 吉野 隆
[電話 0836-31-5100, 内線243または245]

日本塑性加工学会第56回シンポジウム

主題：鍛圧加工における製品の精度と欠陥

日時：昭和51年9月10日(金) 9:30~16:30

場所：東京光陽社ビル(荒川区日暮里 5-48-5)
TEL 03-803-1241

(9:30~11:50)

1. 鍛圧加工における変形過程・材料破壊および表面性状 神大工 小坂田宏造
2. 鍛圧加工における工具たわみと製品精度 横国大工 松原 茂夫
3. 素材欠陥に起因する冷鍛品の精度と欠陥 トヨタ自工 高橋 昭夫
4. 製品設計と冷鍛品の精度と欠陥冷間鍛造 沢辺 弘
5. 温鍛品の精度と欠陥 阪府立工技研 山本 博一

(13:00~16:30)

6. 熱間の精密鍛造品の精度 日産自工 中沢 繁夫
 7. 熱結品の精度と欠陥 住電工 小野田岑夫
 8. 粉末鍛造品の精度と欠陥 豊田中研 木林 尚
 9. 回転鍛造品の精度と欠陥 名工試 久保 勝司
- パネルディスカッション(15:00~16:30)
座長 横浜国立大学工学部 工藤 英明

第5回LNG国際会議(LNG-5)

会期 1977年8月29日~9月1日

開催地 西独 ジュッセルドルフ

主催者 IIR (International Institute of Refrigeration)
IGU (International Gas Union)
IGT (Institute of Gas Technology)

論文募集要項

1. テーマ

- (1) LNGが世界のエネルギー供給に果たす役割 (The Role of LNG in World Energy Supply)
- (2) LNGに関する技術とその経済性 (LNG Technology and Its Economic Implications)
- (3) 資金、法律、政策的見地よりみたLNG輸送 (Financing Legal and Policy Aspects of LNG Trade)
- (4) LNGの輸送 (Transportation of LNG)

2. 論文提出希望者は本年9月30日までに仏語及び英語で150語程度の要約を提出すること。

送付先: Michael Carne

Secretary of the Programme Committee
British Gas Corporation
59, Bryanston Street, London,
W1A2AZ, England

3. 提出論文の採否はプログラム委員会で審議され本年末までに通知される。なお、完成原稿の期限は1977年4月30日

4. 国内連絡先

山本勝郎(プログラム委員会委員)
ブリヂストン液化ガス株式会社
中央区京橋 1-2 大阪ビル
〒104 TEL 271-3741

第5回国際超高電圧電子顕微鏡学会議

会議の名称

第5回国際超高電圧電子顕微鏡学会議
Fifth International Conference on High Voltage
Electron Microscopy

主催機関の名称等

主催：日本電子顕微鏡学会 協賛：日本鉄鋼協会，ほか

会議開催予定

会期：昭和52年8月29日(月)~9月1日(木) 4日間
場所：京都市左京区岡崎 京都會館

会議の目的と性格

この会議は300kV以上の加速電圧をもつ電子顕微鏡の基礎と応用に関するもので、1969年米国で第1回が開かれて以来2年毎に開かれて、毎回十数ヶ国より300名程の参加者がある。

連絡先

〒565 吹田市山田上大阪大学工学部応用物理教室
第5回国際超高電圧電子顕微鏡学会議
組織委員長 橋本 初次郎
TEL 06-877-5111

第26回国際純正応用化学連合化学会議 (IUPAC Congress) の 2nd Circular の配布について

標記国際会議は、IUPAC が隔年に開く、化学と化学工業全般に亘る総合研究発表会・講演会で、第 26 回はアジアで初めて東京において、1977 年 9 月 4 日から 10 日まで開催され、51 カ国から約 4,000 名の参加者が予定されております。世界の有数かつ活発な科学者約 100 名の特別講演が予定され、「人類の福祉のための化学」をモットーにしたシンポジウムのほか、物理化学、分析化学、有機化学、高分子化学の講演も応募できます。2nd Circular (9 月発行予定) 入手には、101-91 神田郵便局私書箱 56 号 IUPAC 係へ予備登録書をご請求 (50 円切手貼付の返信用定形大形封筒同封) 下さい。

Second International Conference on Solid Lubrication (第二回固体潤滑国際会議)

日時 1978 年 8 月 14 日～18 日
場所 Denver, Colorado, U.S.A.
論文アブストラクト締切 1977 年 9 月 1 日
完成論文締切 1977 年 12 月 1 日

詳細問合せ先

〒167 東京都杉並区井草 4～12～1
工業技術院機械技術研究所
トライボロジー課 津谷裕子技官
電 03 (399) 1181 (代)

日本工学会 お知らせ

本会では加盟当協会の講演会・講習会等の開催を広くお知らせするため、本会が監修、株式会社栄共通信社から「日本工学界ニュース」を発行しておりましたが同ニュースは本年 3 月以降休刊いたしましたのでその代りとして「科学新聞」(週刊、毎金曜日発行) 第二面学界だより欄の中に「日本工学会関係」と標題をつけて掲載することにいたしました。

掲載事項は本会加盟の学協会が主催又は共催される講演会等の会合名、開催日時、会場、講演題目又は講演数照会先等であり、日本工学界ニュースと同様ごらんいただければ幸いに存じお知らせいたします。

社団法人 日本工学会
なお、上記科学新聞の発行所は次のとおりであります。
科学新聞社 東京都港区芝浜松町 1-8-1
電話 (03) 434-3741 (代)

第 91 回 (秋季) 講演大会宿泊のご案内

講演大会期間中の宿泊について下記の通り日本交通公社で斡旋することになりましたので、希望者はお申込み下さい。

宿泊料金 (1) 日本旅館 (1 泊 2 食付, 相部屋, 税, サービス込)
A : 5,000 円, B : 6,000 円

(2) ビジネスホテル
C : 2,000 円～3,000 円 (シングル, バスなし)
D : 3,600 円～5,000 円 (シングル, バス付; 税, サービス別)
E : 6,000 円～7,000 円 (ツイン, バス付; 税, サービス料別)

(3) ホテル
F : 5,000 円～8,000 円 (シングル, バス付; 税, サービス料別)
G : 7,800 円～11,000 円 (ツイン, バス付; 税, サービス料別)

申込方法 下記申込書式により申込金を添えてお申込み下さい。(申込書 1 枚につき 1 人に限ります)
○グループで同一旅館、ホテルに宿泊を希望される方は、その旨を備考欄にご記入の上申込書を一括してお申込み下さい。
○1 人 1 泊につき 3,000 円の申込金を添えて現金書留にて下記宛ご送金下さい。
申込書到着後宿泊券をお送りしますから当日必ずご持参下さい。差額については旅館、ホテルにて精算して下さい。

申込締切 8 月 31 日(水)。なお申込後の取消し、変更は 9 月 16 日までに連絡のあったものについては実費 (郵送料 500 円) 差引きの上返金致しますが、それ以降については申込金を返金致しかねますのでご了承下さい。

申込先 980 仙台市一番丁 3 丁目 6-1 佐々重ビル内
日本交通公社仙台支店 日本鉄鋼協会・日本金属学会秋期大会係

昭和 51 年度秋季講演大会参加申込書

見 学 会	希望順位	班 別		送金額
		第1班 (新日本製鉄, 釜石製鉄所)		800 円
		第2班 (吾嬬製鋼所, 藤沢製鋼)		
		第3班 (東北大金研 東北大選研)	いずれか一方に○印	東北大工金属系教室 金属博物館
婦人見学会 (出席者氏名)				3,500 円
懇親会	出欠	ご夫人の出欠(招待) 出欠 ご夫人名		5,000 円
会員資格	員		送金額合計	円
通信先 (〒)				
氏 名				
勤務先, 職名				
領収書送付先 (通信先と異なる場合)				

[申 込 書 式]

日本鉄鋼協会・日本金属学会宿泊申込書

氏 名 (クーポン送付先)	連絡先				電話	
	勤務先				電話	
ふりがな	希 望 ク ラ ス	宿 泊 月 日				申込金 円× 泊× 名=
氏 名		10/1	10/2	10/3	10/4	
	A B C D E F					
	A B C D E F				送金額合計 円	
備考	宿泊料金の希望金額 円					